

第37回中国中学校柔道選手権大会要項

- 1 目 的 本大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広く柔道実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健康な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒の相互の親睦をはかるものである。
- 2 主 催 中国中学校体育連盟 鳥取県教育委員会 米子市教育委員会 中国地区柔道連盟
- 3 主 管 鳥取県中学校体育連盟 米子市中学校体育連盟 鳥取県柔道連盟
- 4 後 援 鳥取県中学校長会 (公財)鳥取県体育協会
- 5 会 期 令和3年8月7日(土)～8日(日)
- 6 日 程
- | | | | |
|---------------|----|-------------------|-----------|
| 8月7日(土) | 開館 | 9:00 | |
| (1) 受付 | | 9:00～10:00 | 1階正面玄関ロビー |
| (2) 非公式計量 | | 9:00～9:45 | |
| (3) 公式計量・服装検査 | | 9:45～10:30 | |
| (4) 審判会議 | | 10:30～11:00 | 会議室 |
| (5) 監督会議 | | 11:00～11:45 | |
| | | (練習9:00～11:30本会場) | |
| (6) 試合開始(団体戦) | | 12:15 | |
| 8月8日(日) | 開館 | 8:00 | |
| (1) 審判打合せ | | 9:00～9:30 | |
| | | (練習8:00～9:20本会場) | |
| (2) 試合開始(個人戦) | | 9:45～ | |
- ※感染症対策のため、開閉会式及び表彰式は行わない。
- 7 会 場 鳥取県立武道館 〒683-0853 米子市両三柳3192-14 TEL (0859)24-9300
- 8 参加資格
- (1) 参加者は、各県中学校体育連盟加盟の学校に在籍し、学校教育法第1条にもとづく当該中学校生徒であること。
 - (2) 年齢は平成18年4月2日以降に生まれた者に限る。
 - (3) 前項以外の生徒が参加を希望する場合は、その年度の6月30日までに、各県中学校体育連盟を通して(公財)日本中学校体育連盟に申し出ること。
 - (4) 学校教育法第134条の各種学校(1条校以外)に在籍し、各県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
参加資格を得た各種学校は別に定める条件を具備すること。
詳細は「令和3年度 中国中学校体育連盟 役員理事名簿 規約・諸規程」を参照のこと。
 - (5) 各県中学校体育連盟主催の競技大会において、中国大会参加資格を得たチームまたは個人とする。
 - (6) チーム編成は一校単位で編成されたものとする。
 - (7) 夏季大会に限り、同一年度内の参加は全種目を通じて一人一回とする。
 - (8) 個人戦は、(5)の項の個人戦の部より選抜されたものとする。
 - (9) 参加生徒の引率・監督は、出場校の校長・教員・部活動指導員※1とする。なお、部活動指導員は、他校の引率者及び依頼監督にはなれない。
(※1→ここでいう部活動指導員は、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者)
 - (10) 中国中学校選手権大会では外部指導者(コーチ)を**1校・1チーム1名**おくことができる。外部指導者(コーチ)は、出場校の校長が認めた者とし、所定の「外部指導者(コーチ)確認書(校長承認書)」に必要事項を記入し、大会事務局に参加申込み時に提出する。但し、当該校以外の中学校教職員は、外部指導者(コーチ)にはなれない。また、同一人が複数校の外部指導者にはなれない。
 - (11) 中国中学校選手権大会の個人競技の参加について、校長・教員・部活動指導員が引率できず校長がやむを得ないと判断した場合に限り、「中国中学校選手権大会引率細則」により、校長が引率者として承認した外部指導者の引率を認める。その際には、所定の書類を実行委員会に提出すること。
 - (12) 本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者(コーチ)トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとしている。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお外部の指導者は校長から暴力等に対する

る指導処置を受けていないこととする。

(13) 個人情報取り扱い(利用目的)

大会の主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、中国中学校体育連盟個人情報保護方針・規定に基づき、取得する個人情報について適正に取り扱う。

取得した個人情報は、競技大会の資格審査・競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成・ホームページ・掲示板・報道発表(記録表)等、その他競技運営及び競技に必要な連絡等に利用する。

9 大会負担金

- (1) 登録選手一人につき、2,000円とする。
- (2) 納入方法は、各県中体連の事務局の指示による。
- (3) 参加申込締切以降の参加取り消しや不出場の場合、負担金の返金は行わない。

10 参加制限

- (1) 団体戦は、各県2チーム、開催県4チームの合計12チームとする。
1チームの編成については、男子チームは監督1名、コーチ1名、選手7名以内。
女子チームは監督1名、コーチ1名、選手5名以内とする。
試合ごとに選手の位置を変えることはできない。
チームの編成は、体重の重いものを大将とし、以下順次体重順に編成する。
- (2) 個人戦は、男子8階級・女子8階級で、各階級とも各県2名、開催県は4名の合計12名とする。
男子-50kg級, 55kg級, 60kg級, 66kg級, 73kg級, 81kg級, 90kg級, 90kg超級
女子-40kg級, 44kg級, 48kg級, 52kg級, 57kg級, 63kg級, 70kg級, 70kg超級

11 競技規則

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定(2018年施行のルール)及び国内における「少年大会特別規定」(平成30年4月1日より施行)による。
- (2) (公財)講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。
- (3) 柔道衣は白色とし、女子の黒帯は白線なしの黒帯を使用する。

12 競技方法

- (1) 団体戦
 - ① 男女とも参加12チームを3チームずつ4組に分け、各組でリーグ方式を行い、各組の1位4チームによって決勝トーナメント方式を行う。
 - ② 男子は1チーム5人制、女子は1チーム3人制により試合を行う。
 - ③ チーム編成は、男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。
※ 選手変更は、基本的に前試合開始までに所定の場所にて受け付ける。
 - ④ 試合時間は3分間とし、代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
 - ⑤ 勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」又は「僅差(『指導』の差2)」とする。
 - ⑥ 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。

「一本」 = 「反則勝ち」 > 「技あり」 > 「僅差」

 - ⑦ リーグ方式では、チーム間の内容が同等の場合は引き分けとする。また、リーグ方式の順位は次の方法によって決定する。
ア チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
イ アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。
ウ イにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。
エ ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。
オ エにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。
カ オにおいて同等の場合は、1名による代表戦を1回行い、決勝トーナメント方式への出場チームを決定する。(3校同等の場合は、代表者3名によるリーグ方式を行う。)
 - ⑧ トーナメント方式の勝敗は、次の方法によって決定する。
ア チーム間における勝ち数による。
イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。
 - ⑨ 代表戦は任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差がない場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。
 - ⑩ 代表戦で両者反則負けの場合には、チームは次の試合に進めない。
- (2) 個人戦
 - ① 男女とも、各階級12名までによるトーナメント方式で行う。
 - ② 試合時間は3分間とし、延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
 - ③ 勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」又は「僅差(『指導』の差2)」とする。
得点差が無い場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。
 - ④ 両者反則負けの場合には、次の試合に進めない。
 - ⑤ 選手には、監督・コーチのどちらか1名は付き添うこと。

13 計 量・
柔道衣点検

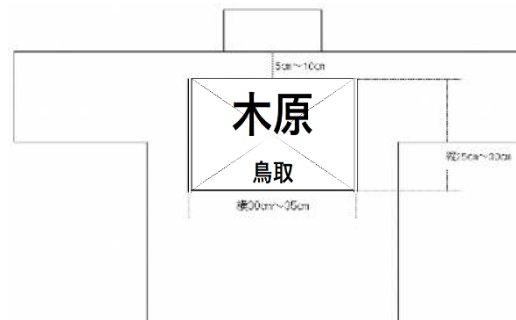
(1) 【計 量】

- ① 公式計量の前に非公式計量（仮計量）を行うことを認める。
- ② 非公式計量では、指定時間内に自由に体重を測定することができる。
- ③ 公式計量は指定された時間内に1回とし、再計量は一切認めない。
- ④ 公式計量の服装は、男子は下穿き、女子はTシャツと下穿きの着用を認める。なお、下着の着用は認めるが、包帯・サポーター等の着用は一切認めない。
 - ア 団体戦 ○ チームごとに登録選手全員が測定を行うこと。
○ 公式計量には監督が立ち会うこと。
○ 順番の入れ替え等があった場合は通知する。
 - イ 個人戦 ○ 定められた階級の体重区分内にない者は失格とする。
○ 監督は計量場所には入れない（指定場所にて待機すること）。
※ 別室計量が必要な者は、あらかじめ申し出ること。

(2) 【柔道衣点検】

- ① 公式計量に引き続き、柔道衣点検を行う。
- ② (公財)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣上衣・下穿き・帯)を着用すること。
- ③ 柔道衣に必ずゼッケン（学校名・名字入り）を縫い付けて出場すること。
 - ア 布地は白（晒、太綾）とする。
 - イ サイズは横30～35cm、縦25～30cmとする。
 - ウ 名字（姓）は上側2/3、学校名は下側1/3とする。
 - エ 書体は太字ゴシック体とする（明朝または楷書でもよい）。
 - オ 文字色は、男子は黒色、女子は濃い赤色とする。
 - カ 縫い付け場所は襟から5cm～10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
- ④ 女子は、上衣の下に白色又は白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。
※ Tシャツのマーキングについては、(公財)全日本柔道連盟が定める規程（平成25年4月1日より施行）に準ずる。
- ⑤ 柔道衣コントロールの際は、試合時に着けるサポーター等を着用し受けること。
- ⑥ 胸マーキング等について、道場名等は不可とする。

【例】



14 表 彰

- (1) 団体1～3位までの学校及び登録選手に、中国中学校体育連盟より賞状を授与する。また、男子優勝校には優勝旗（持ち回り）、女子優勝校には優勝カップ（持ち回り）を授与する。前年度優勝校にはレプリカを授与する。
- (2) 個人戦、各階級とも1～3位までの選手に中国中学校体育連盟より賞状を授与する。

15 参加申込

- (1) 各学校は、申込を所定の用紙に記入し、各県委員長に1部提出する。（様式1または2）
- (2) 申込〆切は令和3年7月27日（火）正午までを厳守する。専門委員長がまとめて申し込みを行う。ただしプログラム作成の関係上、出場校（選手）決定次第、専門委員長は一覧表に記入し、電子データを事務局に送付する。（別紙一覧表様式専門委員長あてメール送信したものを利用。）
- (3) 申込先 第37回中国中学校柔道選手権大会鳥取県実行委員会事務局
〒680-0844 鳥取市興南町91番地 鳥取市立南中学校 木原 富男 宛
TEL (0857)22-3617 FAX (0857)24-3925

16 組 合 せ

- (1) 団体戦は令和3年8月6日（金）鳥取県立武道館会議室において抽選し決定する。
- (2) 個人戦は令和3年7月29日（木）開催県実行委員会で抽選し決定する。
ただしその抽選会には開催県中体連役員が立ち会うものとする。

- | | | | | |
|-----------|--------------|-------------|-------------|--------|
| 17 会 議 | (1) 専門委員長会議 | 日時 | 令和3年8月6日(金) | 11:00~ |
| | 会場 | 鳥取県立武道館 | 会議室 | |
| | (2) 男女団体戦抽選会 | 日時 | 令和3年8月6日(金) | 14:00~ |
| | 会場 | 鳥取県立武道館 | 会議室 | |
| | (3) 審判会議 | 日時 | 令和3年8月7日(土) | 10:30~ |
| | 会場 | 鳥取県立武道館 | 会議室 | |
| (4) 監督会議 | 日時 | 令和3年8月7日(土) | 11:00~ | |
| | 会場 | 鳥取県立武道館 | 会議室 | |
| (5) 審判打合会 | 日時 | 令和3年8月8日(日) | 9:00~ | |
| | 会場 | 鳥取県立武道館 | 会議室 | |

18 宿 泊 大会出場者（登録選手及び引率者）は、必ず大会実行委員会を通じて宿泊申し込みを行うこと。大会中の連絡等については旅行業者を通じて行い、宿泊をしないところについては学校に連絡する。詳細は、別紙宿泊要項を参照のこと。

- 19 その他
- (1) 団体戦において、参加申込後、大会開催2日前（8月5日）までに限り、病気・負傷により選手変更（入れ替え）が必要になった場合は、当該中学校長から理由を添えて、選手変更届（様式は特に指定しない）を提出した場合に限り、選手変更を認める。（原則として本大会に出場しないチームは、全国大会への出場権を失効する。）
 - (2) 個人戦において、参加申込後、大会開催2日前（8月5日）までに限り、病気・負傷により選手変更（入れ替え）が必要になった場合は、当該県委員長から理由を添えて、選手変更届（様式は特に指定しない）を提出した場合に限り、選手変更を認める。（原則として本大会に出場しない選手は全国大会への出場権を失効する。）
 - (3) 全国大会の出場については、団体戦・個人戦ともに各県大会の優勝チーム及び優勝者を推薦する。
 - (4) 大会に参加する生徒は、事前に医師の健康診断を受けることが望ましい。また、大会中の不慮の負傷・疾病については応急処置を施す。
 - (5) 開会式は全員参加を原則とする。
 - (6) 体重測定（公式計量）・服装検査は、大会1日目（要項表記の時間）に実施する。公式軽量で合格しない場合は、失格とする。（時間内1回のみでの計量とし、再計量は認めない。）
 - (7) 計量の服装は、男子は下穿き、女子はTシャツと下穿きの着用を認める。（下着は認めるが、包帯、サポーター等の着用は一切認めない。）
 - (8) 大会第1日目に参加者全員受付を行うこと。
 - (9) 皮膚真菌症（トングランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができないこともある。
 - (10) 脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること
 - ① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ② 大会中、脳震盪を受傷した者は継続して当該大会に出場することは不可とする。
 - ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
 - ④ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
 - (11) 大会前日（8月6日）は、練習時間として14:00~17:00まで練習会場を開放する。また、8月7日は表彰式終了後に1時間程度、試合会場を開放する。
 - (12) 中国大会の競技開催期間は2日間以内となっているが、天候等の関係で順延または競技方法の変更もあり得る。
 - (13) 万が一、大会が会期中に全く開催できない場合は、別日程は設けず中止とする。（詳細は「令和3年度 中国中学校体育連盟 役員理事名簿 規約・諸規程」による）
 - (14) 万が一、大会が中止になった場合、負担金は返金する。ただし、全額返金できない場合がある。（詳細は「令和3年度 中国中学校体育連盟 役員理事名簿 規約・諸規程」による）
 - (15) 本大会は別添「令和3年度 中国中学校体育連盟 中国中学校選手権大会実施上のCOVID-19 感染拡大予防ガイドライン」に従って開催する。

20 連絡先 大会についての問い合わせは、下記連絡先とする。

- (1) 大会開催前 第37回中国中学校柔道選手権大会鳥取県実行委員会事務局
〒680-0844 鳥取市興南町91番地 鳥取市立南中学校 木原 富男
TEL (0857)22-3617 FAX (0857)24-3925
- (2) 大会開催中 木原 富男(鳥取県中体連柔道専門委員長)
鳥取県立武道館 〒683-0853 米子市両三柳3192-14 TEL (0859)24-9300